

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

スペイン王国

【据置】

外貨建長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- 名目 GDP 約 1.4 兆米ドル、人口は 4,700 万人を超え、ユーロ圏では経済規模第 4 位の中核国。格付は、発展し多様性のある経済基盤、構造改革の進展、ユーロ圏及び EU の堅固な支援体制などを評価している。他方、格付は高水準の政府債務および純対外債務などから制約されている。格付の見通しは安定的。新型コロナウイルス感染拡大の影響により 20 年の経済や財政は大幅に悪化したが、制限措置の緩和や観光需要の回復などによって経済は 21 年以降改善しており、22 年は 5.5% の GDP 成長となった。23 年以降も EU 復興基金を通じた投資活動が経済を下支えし、政府は財政健全化を緩やかに進めていくとみている。
- 21 年の一人当たり GDP（購買力平価）が 4 万米ドルを超えるなど経済は発展している。感染拡大前までには労働市場、財政、金融システムなど広範な構造改革により競争力が回復し、経済拡大とともに経常収支も黒字基調となっていた。観光産業の構成比が高いスペインの GDP は、20 年には感染拡大の影響により EU 内でも大きい落ち込みを記録したが、22 年には EU 平均より高い 5.5% の成長率を確保するまで改善した。観光客数の回復に加え、感染影響からの再起を目的に EU が設立した復興基金がスペインに重点的に配分されたことなどが成長に寄与した。復興基金を通じて行政のデジタル化、再生エネルギーへの投資、労働市場の改善、職業訓練など、将来も見据えた投資を行っていく計画である。22 年には EU 平均は下回ったものの 8.3% の高いインフレに見舞われた。23 年は物価上昇が経済成長を鈍化させると見込まれる一方、復興基金を通じた投資が下支えし、1% 程度の緩やかな成長を続けると JCR はみている。金融システムは銀行の資本基盤などまだ改善余地があるが、不良債権比率も低位にとどまり、引き続き安定している。
- 一般政府財政赤字と一般政府債務残高は感染拡大前まで縮小を続け、19 年度は財政赤字が GDP 比 3.1%、一般政府債務残高は同 98.2% まで低下していた。20 年度には感染拡大の影響から財政赤字が GDP 比 10.1%、政府債務も同 120.4% に拡大したが、21 年以降は再び縮小に転じ、22 年度の財政赤字は GDP 比 4.8%、一般政府債務残高は同 113.2% まで低下したとみられる。23 年度の政府予算では財政赤字 3.9% と緩やかな削減を計画している。23 年末までに総選挙が予定されており、総選挙後に財政再建へ向けた取り組みや、EU との関係に変化が生じないかを注視していく。

(担当) 増田 篤・堀田 正人

■格付対象

発行体：スペイン王国 (Kingdom of Spain)

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年4月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) スペイン王国 (Kingdom of Spain)
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明
・経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
11. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル